

韓国環境部プレスリリース 2020 年 3 月 3 日付

京畿道と江原道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 299-306 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1342585&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は、3月2日に江原道(カンウォンド)華川郡(ファチョングン)華川邑(ファチョンウプ)、京畿道(キョンギド)漣川郡(ヨンチョングン)百鶴面(ペツカンミョン)および郡南面(クンナムミョン)広域フェンスの中で発見された野生いのしし死体8個体からASFウイルスが検出されたと3月3日明らかにした。

□国立環境科学院は、3月3日、死体8個体からASFウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡(ファチョングン)120件、漣川郡(ヨンチョングン)96件、坡州市(パジュシ)68件、鉄原郡(チョルウォングン)22件、全国で合計306件の野生いのししASF陽性事例となった。

○野生いのししASF標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「他にも感染個体が存在するのか捜索を通じて持続的に確認し、死体を迅速に除去して拡散を遮断する計画だ」と明らかにした。

以上